

『紳士協定』 原題 <i>Gentleman's Agreement</i> 1947 年	執筆: 清水 純子
制作国	アメリカ
スタッフ&キャスト (監督、脚本家、俳優、その他)	スタッフ:監督 エリア・カザン/ 脚本 モス・ハート/ 製作ダリル・F・ザナック/ 音楽 アルフレッド・ニューマン/ 撮影 アーサー・C・ミラー/ 編集 ハーモン・ジョーン/ キャスト:グレゴリー・ペック;フィリップ/ アン・リヴィア:グリーン夫人/ ドロシー・マクガイア :キャシー/ ジューン・ハヴオック: エレイン/ ジョン・ガーフィールド :デイヴ/ アルバート・デッカー : ジョン/ セルステ・ホルム: アン/ ジェーン・ワイアット: ジェーン/
画像	
カラー・モノクロ	モノクロ
時間	118 分
ストーリー	<p>売れっ子ライターのフィリップは、反ユダヤ主義についてインパクトのある読み物の執筆依頼を受けてニューヨークに行く。気乗りのしなかったフィリップは、幼い息子との会話でこのテーマの重要性に気付き、6 か月間ユダヤ人に成りすまして過ごす。ユダヤ人であることを公言したとたん、親切だった人々の態度が変わり、ホテル宿泊も慇懃無礼に断られ、人前で罵倒され、息子は学校でいじめられる。やもめのフィリップは編集長の姪キャシーと婚約するが、ユダヤ問題で喧嘩して破局する。しかし、キャシーは、フィリップのユダヤ人の友人デイヴの指摘で行動に出ず傍観者だった点に気づき反省して、フィリップと仲直りする。以前はユダヤ問題に無関心だったフィリップは、今後はキャシーと共に差別撤廃のための行動に出ることであろう。</p>
時代設定	1940 年代
場所	ニューヨーク
社会背景	<p>他民族国家アメリカ合衆国は、イスラエルに次いで世界で二番目にユダヤ系が多く、その多くはニューヨークに居住する。経済、文化、学術その他の領域で能力を発揮するユダヤ系の人々が多くNYに居住している。</p>
文化的背景	<p>多方面に能力と影響力を発揮するユダヤ系の人々に対する恐れとやっかみ、金銭の保持に多大な価値を置くユダヤ系の人々への反感と価値観のずれ、ユダヤ教の戒律に対するキリスト教徒の嫌悪、キリスト教徒が神の子と仰ぐキリストを殺したのはユダヤ人。</p>

使用言語	英語
テーマ	反ユダヤ主義に苦しむユダヤ系の実態の告発と非難、ユダヤ系差別撤廃の努力の提案。
みどころ	ユダヤ人になりすました男性が、差別の過酷な実態を肌身で感じて、ユダヤ問題の深刻さに気づき、差別撤廃への行動の必要性を認識していく過程が見事である。タブーであったユダヤ問題を正面から扱った初めての映画。
印象深いせりふ	Tommy: What's anti-Semitism? Philip: Oh, that's where some people...don't like other people just because they're Jews. Tommy: Why? Are they bad? Philip: Some are, sure. Some aren't. It's like everybody else. Tommy: What are Jews, anyway? Philip: I mean, exactly. You remember last week when you asked me about that big church? told you there were lots of different churches. Tommy: Yeah. Philip: The people who go to that church are called Catholics. There are people who go to other churches...and they're called Protestants. There are others who go to still different ones...and they're called Jews...only they call their churches synagogues or temples. Tommy: And why don't some people like those? Philip: Well, that's kind of a tough one to explain, Tom. Some people hate Catholics and some hate Jews.・・・But the other thing is religion...like the Jewish, Catholic, or Protestant religions. That hasn't anything to do...with the flag, uniform, or airplanes. Got it?
授業教材用 メリット	アメリカにおけるユダヤ系差別の問題について考えさせる。外見からは区別のつかないユダヤ系の人々への差別は、隠微で周到であり、ある意味でいわれのないものであることを示唆。ユダヤ人とは、人種ではなく、信仰する宗教による区別であることをはっきりさせている。
授業教材用 デメリット	1940年代に存在し多様なユダヤ系に対する公的差別は現在では存在しないし、違法である。21世紀は黒人差別そしてイスラム系住民への偏見がより大きな問題になってきている。
映像入手元	20世紀フォックス・ホーム・エンターテイメント・ジャパン/ ファーストレイディング/ エー・アール・シー/
原作の有無	ローラ・Z・ホブソン
支持反応	Rotten Tomatoes 評価(批評家 78、観客 77)
キーワード	反ユダヤ主義、差別、偏見、ニューヨーク、ライター、雑誌社、宗教、タブー。

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。